

向丘中学校区だより



2020年（令和2年）3月5日（木）第3号
発行：向丘中学校区小中一貫教育推進協議会

向丘中学校区小中一貫教育の様子をお知らせします。

夢中になれる授業づくり

小中学校区合同研修 授業研究



私はあまり英語が得意ではないので、スペシャルメニューを考えるのはとても大変でしたが、友達のために考えるのはおもしろかったです。

（児童振り返りより）

1月23日（木）水呑小学校にて、5年生外国語活動の授業研究が行われました。「友達のためにスペシャルメニューを考える」という課題のもと、まず、「What would you like ~?」と友達に好みの食材や味付けなどを英語でインタビューをしました。次にレストランに出かけ、どんなメニューがあるか店員役の人と話をしして情報をもらいます。最後にインタビューをして聞いた好みに合わせてスペシャルメニューを決め、友達に紹介しました。このようにメニューを考える中で、「相手のために（for you）」を大切に活動しました。普段あまり話をしない友達との会話を通して、英語でのコミュニケーションを楽しみました。授業後は、参観した先生方による協議会を行い、岡山大学の柴川助教よりESD（持続可能な開発のための教育）の観点から授業づくりをどう変えていくかという講話をいただきました。



自分のメニューは自分の好きなものだけで作ることができるけれど、友達メニューを作るには、友達の話（英語）をよく聞かないといけないと思いました。また、英語でのいろいろな言い方が分かっただけでなく、自分自身も友達に英語を話して伝えることが大切だなと感じました。今日の授業を家族としてみたいと思いました。

生徒会と児童会で

寒い朝も元気にあいさつ運動

毎月第2水曜日を「校区あいさつの日」には、向丘中学校から高島小学校と水呑小学校に生徒会役員を迎え、合同あいさつ運動を行っています。

3学期も寒い中、あいさつ運動を行いました。冬の朝はとても冷えますが、中学校の先輩たちからの「おはよう」「ひさしぶり」「元気だった？」の声かけに笑顔になったり、知っている顔を見ると手を振ったりする姿が見られました。小学生と中学生が触れ合える絶好の機会でした。このような活動を通して人とのかかわりを大切にしたいという姿を丁寧に育みたいと思います。

